

● 令和6年度下関市立大学同窓会全国支部長会議に参加してきました ●

11月16日（土）シーモールパレスルビーの間で、同窓会全国支部長会議が行われました。同窓会本部役員や全国19支部の役員が集まり活発な意見交換が行われました。

大学の近況報告では【SCU Vision 2040】（Shimonoseki City University Vision）が発表されました。人口が減少する一方で、高齢者がピークをむかえ労働人口が少子化などで急減する2040年問題やそれに伴う社会の変化、大学の変化を鑑み、下関市立大学が2025年から2040年の間に行うビジョンとして以下の「3つの柱」を設定。

未来社会の創造・・・社会が直面するリスクに対応できる人材、将来の変化を先導する人材の育成し希望ある未来社会の創造を推進する
地域社会との共創・・・地域に根ざした大学として地域の未来を発展させていくための人材の育成、地域課題の解決を目指す研究を推進する
国際社会との共創・・・世界で活躍できるグローバル人材の育成・世界の研究機関との提携等で世界に通用する研究を推進する
以上3つをかかげ、世界の名門大学となるよう基盤を作っていくことが報告されました。

次に議題の審議に移り、令和6年度の決算・監査報告、令和7年度予算案や活動予定が承認・可決されました。また、同窓会組織の活性化策として支部のブロック制導入が提案され、議論の結果その方向性は概ね了承されました。

最後に各支部より総会開催状況などの活動報告が行われ、会議終了後に各支部との情報交換を目的とした懇親会が行われました。

